

★ ★ JRKU
★ ★
2024年 第981号
4月27日

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GS/ハイム博多805号
TEL 092-415-4377 FAX4399
発行人 縫 和 彦
編集人 田 中 勇

玄海町「核のゴミ」請願採択へ！ 玄海町への負担へ「NO」！！

4月25・26日玄海町議会は、玄海町内の3団体から出された「核のゴミ」に対する文献調査を求める請願に対して特別委員会と本会議で賛成多数で採択されました。連休明けにも町長の最終判断が出されます。

文献調査とその後は

- ・現在北海道の2町村が文献調査を受け入れています。地質調査を2年間行い、最大20億円の交付金が支払われます。その後は「概要調査」4年間行いボウリング調査をします。最大70億円の交付金が支払われます。最後に「精密調査」地下に施設を造り約14年かけて評価します。
- ・最終的には市町村長や知事の意見が求められます。
- ・精密調査では知事の同意も必要となり現在の山口知事は「新たな負担を受け入れる考えはない」と明言しています。

推進派からは、「**玄海町の発展**」や「**原発がある自治体の責務**」などしていますが、「核のゴミ」を受け入れることが町の発展となるのでしょうか？原発の事故や核の処分場での問題が発生すれば「町」そのものが消滅します。人口減小での自治体の消滅が予想されるなか、原発よりも真の町の発展を考えて行くべきです。

JR九州ユニオンは引き続き「ベルマーク収集運動」と6月には「反原発集会」を計画しています。

**これ以上玄海町への負担をかけさせない。
次の世代へも負わせない！**